

‘41

ハワイ諸島



真珠湾攻撃

41, 12. 7

「パールハーバー空襲さる。
これは演習にあらず」攻撃
を受ける戦艦群。

R

1

7

‘41

フィリピン諸島



マニラ空襲

41, 12. 8~10

日本軍の爆撃で炎上する、
ルソン島のクラークフィー
ルド飛行場とB-17 重爆。

R

2

5

‘41

マレー半島



マレー沖海戦

41, 12. 10

陸攻隊の攻撃を回避せんとする英
戦艦プリンス・オブ・ウェールズ
および英巡戦レパルス(写真奥)
と駆逐艦(写真手前)。

R

3

5

‘41

中部太平洋



ウェーク島

41, 12. 11 & 21~23

島の米軍基地施設の全景
(開戦前の撮影)。

4

1

‘42

蘭領東インド諸島



スラバヤ沖

42, 2. 27

続く3月1日にズンダ海峡
で被弾多数により転覆する
英重巡エクセター。

R

5

4

‘42

日本



ドーリットル空襲

42, 4. 18

東京に奇襲報復爆撃を仕掛ける
べく、空母ホーネットを発艦す
るB-25 中爆。

R

6

0

‘42

西ニューギニア



珊瑚海海戦

42, 5. 6~8

空母ヨークタウン搭載機の攻撃を
回避中の翔鶴に爆弾が命中する。

7

5

‘42

ハワイ諸島



ミッドウェー海戦

42, 6. 5~7

空母飛龍搭載機の魚雷を受ける
同ヨークタウン。(註: この後
イー 168 潜により沈没)

8

6

‘42

ガダルカナル作戦



第一次ソロモン海戦

42, 8. 8

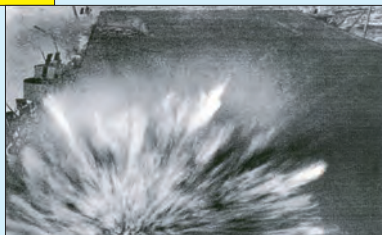
サーチライトに浮かび上がる、
断末魔の重巡クインシー。

9

3

‘42

ガダルカナル作戦



第二次ソロモン海戦

42, 8. 24

空母エンタープライズの飛行甲板上で爆発する日本軍の爆弾。



10

5

‘42

ガダルカナル作戦



サヴォ島沖夜戦

42, 10. 11

ノーマン・スコット少将。本海戦の勝利者で議会名誉勲章受章者である。その後第三次ソロモン海戦にて戦死。



11

3

‘42

ガダルカナル作戦



✠ 南太平洋海戦

42, 10. 26 ~ 27

対空砲火を撃ち上げる空母エンタープライズ（水平線上左）と直衛艦。



12

5

‘42

ガダルカナル作戦



✠ 第三次ソロモン海戦

42, 11. 12 ~ 15

海戦で損傷後、軽巡ジュノーはイー26潜の魚雷により沈没。サリバン5兄弟を始め乗組員多数が戦死した。



13

4

‘42

ガダルカナル作戦



✠ ルンガ沖夜戦

42, 11. 30 ~ 12. 1

酸素魚雷の命中で艦首を丸ごと食いちぎられた、海戦後の重巡ミネアポリス。



14

3

‘43

ガダルカナル作戦



レンネル島沖海戦

43, 1. 29 ~ 30

一式陸攻の雷撃を受け、浸水沈没する重巡シカゴ。



15

2

‘43

東ニューギニア



✠ ダンピール海峡の悲劇

43, 3. 2 ~ 3

A-20 ハボック攻撃機が低空で日本側船団に狙いを付け、肉迫する。米軍機5機喪失と引き換えに、輸送船8隻と駆逐艦4隻が沈没した。



16

3

‘43

北太平洋



アッツ島沖海戦

43, 3. 27

戦闘3日後の重巡ソルトレークシティ。アラスカ州グッチハーバーにて。



17

3

‘43

ソロモン諸島 / ニューギニア



い号作戦

43, 4. 7 ~ 16

4月7日、コーストウォッチャーから大規模空襲の警告が入る直前の、ツラギ泊地に停泊する米艦隊。



18

2

'43

ソロモン諸島中部



コロンバンガラ島沖夜戦

43, 7. 13

酸素魚雷の命中で艦首をえぐられた、戦闘後の「ラッキー・ロウ」こと軽巡セントルイス。



19

2

'43

ソロモン諸島中部



ベラ・ラベラ島沖夜戦

43, 10. 6

2ヶ月前の駆逐艦シュバリエとオパノン。この海戦でシュバリエは沈没、オパノンは小破した。



20

2

'43

ビスマルク群島



✠ ラバウル空襲

43, 10. 12 ~ 11. 11

43年11月2日、シンブソン港で攻撃を受ける重巡羽黒その他。(註：船舶15隻撃沈等の大損害を受けた)



21

5

'43

ソロモン諸島北部



✠ ブーゲンビル島沖夜戦

43, 11. 2

(別名米軍呼称エンプレス・オーガスタ湾海戦)本海戦の勝利者、アーロン・メリル少将(写真左)。

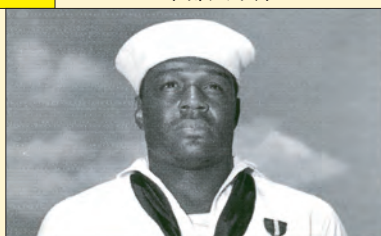


22

3

'43

中部太平洋



✠ ギルバート諸島

43, 11. 21 ~ 25

真珠湾の英雄で海軍十字章受章者のドリス・ミラーは、イー 175 潜による護衛空母リスカム・ベイの沈没時に他 645 名とともに戦死した。



23

3

'44

カロリン諸島



トラック空襲

44, 2. 17 ~ 18

ヘイルストーン作戦でトラック基地を壊滅させ、空母エンタープライズに帰還したヘルキャット戦闘機隊。(註：日本側は艦船 40 隻以上、航空機約 300 機を喪失した)



24

5

'44

西ニューギニア



ホーランドディア

44, 3. 30 ~ 4. 28

整備中の掃射型 B-25 中爆。



25

4

'44

西ニューギニア



渾作戦

44, 6. 8

駆逐艦フレッチャーは、ビアク島に接近する日本側増援船団を撤退させるのに貢献した。



26

2

'44

マリアナ諸島



✠ マリアナ沖海戦

44, 6. 19 ~ 20

米母艦航空隊の攻撃を回避せんとする空母瑞鶴と駆逐艦。



27

7

‘44

東シナ海



✠ 台湾沖航空戦
44, 10. 12 ~ 16

台湾沖で空襲により被雷後、曳航される重巡ヒューストン。遠方で米重巡キャンベラも曳航されている。

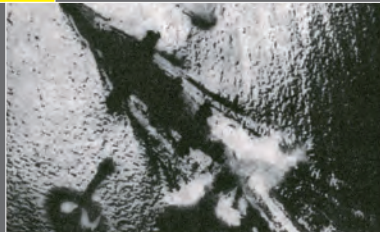


28

4

‘44

捷一号作戦 / レイテ沖海戦



✠ スリガオ海峡夜戦
44, 10. 24 ~ 25

スリガオ海峡突入中、航空攻撃を受ける戦艦山城。



29

4

‘44

捷一号作戦 / レイテ沖海戦



✠ サマール沖海戦
44, 10. 25

護衛空母群を追撃中、米軍機への対空砲火を撃ち上げる戦艦大和。

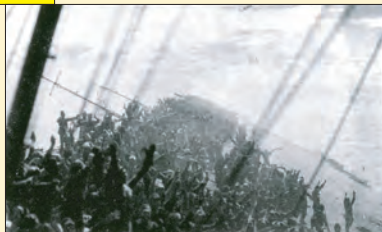


30

4

‘44

捷一号作戦 / レイテ沖海戦



✠ エンガノ岬沖海戦
44, 10. 25

総員退艦前の軍艦旗降下で、万歳三唱を行う空母瑞鶴乗組員。



31

6

‘44

フィリピン諸島



レイテ島輸送作戦
44, 10. 29 ~ 12. 12

44 年 3 月、引渡し前の駆逐艦クーパー。オルモック湾にて戦闘中に被雷沈没した。カタリナ飛行艇が乗組員 168 名を救助したが 191 名が戦死した。



32

1

‘45

フィリピン諸島



✠ ルソン島
45, 1. 4 ~ 12

特攻機の彗星艦爆が軽巡コロンビアに突入するところ。



33

6

‘45

小笠原諸島



硫黄島
45, 2. 16 ~ 21

硫黄島沖で特攻により 192 名が戦死した後、損害の修理を終えた空母サラトガ。



34

4

‘45

日本



✠ 東京大空襲
45, 2. 25 ~ 3. 10

3 月 10 日の大空襲後、焦土と化した東京中心部。死者 84,000 名、負傷 102,000 名を記録したと言われる。(注: 実際の死者数は 10 万名を超える)



35

7

‘45

日本



✠ 呉軍港空襲
45, 3. 19 ~ 7. 28

停泊中の戦艦榛名に至近弾が炸裂する。



36

6

'45

琉球諸島



菊水作戦

45, 4. 6 ~ 6. 22

特攻機の攻撃で炎上する
空母バンカー・ヒル。



37

6

'45

日本



日本海通商破壊

45, 6. 9 ~ 20

敵船を求めて水平線上をにらむ
潜水艦シードッグ乗組員。



38

4

'45

日本



日本本土

45, 7. 14 ~ 8. 15

原子爆弾「ファットマン」の標的となった
長崎を、キノコ雲が焼き尽くす。日本は
降伏し、本土侵攻作戦「ダウンフォール」
は中止となった。



39

8

'4X

戦闘継続



戦闘再開

このカードを他のプレイヤーの戦果にな
っている戦場カードと交換し、もう一度
その戦闘を行う。戦闘の年を自由に指定
することができるが、元のカードに書い
てある年より前にすることはできない。



40

1

1
5
0

戦艦

'41
'42
'43
'44
'45

ウェストバージニア

コロラド級。この艦齢 20 年の戦艦は真珠湾攻撃
で大破着底後（乗員 106 名が戦死）、42 年 5 月
に引き揚げられ、44 年 10 月のフィリピン攻略
に間に合うように艦隊に復帰した。

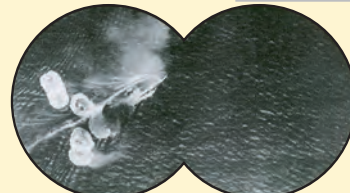
山城

41

4

1
4
0

巡洋戦艦

'41
'42
'43
'44
'45

レパルス

レナウン級巡洋戦艦。艦齢 25 年のレパルスは
日本軍のマレー攻略を阻止するために Z 部隊各艦
と共にシンガポールを出撃したが、
41 年 12 月 10 日、陸攻隊の雷爆撃によって沈没
した。（注：僚艦プリンス・オブ・ウェールズと
共に航行中の戦艦が航空機によって撃沈された
初の例となった）

2 x マレー沖海戦

42

3

1
2
0

重巡洋艦

'41
'42
'43
'44
'45

インディアナポリス

ポートランド級重巡。戦争中を通じて太平洋
にあったが、45 年 7 月 30 日、テニアンへの
原爆部品輸送後にイー 58 港に撃沈された。
合計 883 名の乗員が死亡したが、そのほとん
どは鯨の多い海域で数日間も漂流したためで
あった。

43

2

0
1
2

駆逐艦

'41
'42
'43
'44
'45

ヘンリー

グリッドレイ級（バグレイ級とも）駆逐艦。
真珠湾攻撃に居合わせた後、43 年 10 月 3 日に
ニューギニアにて、ロー 108 港の雷撃を受けて
数分後に沈没した。乗組員 17 名が戦死、241 名
が救助された。

2 x 真珠湾攻撃

44

1

1
?3
0

戦艦

'42
'43
'44
'45

ワシントン

ノースカロライナ級戦艦。真珠湾攻撃時は大西洋
で慣熟航海中だった。42 年 11 月 15 日、第三次
ソロモン海戦第二ラウンドにて巡洋戦艦霧島を撃
沈した（本海戦は太平洋戦争初の戦艦同士の戦い
だった）。

霧島

45

4

1

?

3

0

'42

'43

'44

'45

戦艦

サウスダコタ

同級戦艦のネームシップ。南太平洋海戦での初陣後、42年11月15日の第三次ソロモン海戦第二ラウンドで大破した。その後45年7～8月に日本本土の工業施設に艦砲射撃を行っている。

2 x 南太平洋海戦

46

4

1

?

0

'42

'43

'44

'45

巡洋艦隊

ABDA 連合艦隊

ドールマン少将(オランダ、戦死)に率いられた米英蘭豪4カ国の戦艦艦艇部隊。42年初頭の蘭領インドシナ(註:現在のインドネシア)での一連の海戦で壊滅した。

2 x スラバヤ沖

47

3

1

2

0

'42

'43

'44

'45

重巡洋艦

キャンベラ

英ケント級重巡。同オーストラリアと共に豪海軍最大の戦艦艦艇だったが、42年8月9日の第一次ソロモン海戦にて大破後処分された。その後43年に米海軍が、同盟国に敬意を表して新型巡洋艦の一隻にその名を引き継いだ。

2 x 台湾沖航空戦

48

2

1

1

0

'42

'43

'44

'45

軽巡洋艦

ジュノー

アトランタ級防空巡。42年11月13日、第三次ソロモン海戦第一ラウンドで損傷後、撤退中にイー26潜の雷撃で轟沈した。サリバン五兄弟を含む683名が戦死、その後一週間で10名の生存者が救助された。

九九式艦上爆撃機

49

1

0

1

2

'42

'43

'44

'45

駆逐艦

ラッフェイ

ベンソン級駆逐艦(DD-459)。42年11月13日、第三次ソロモン海戦第一ラウンドにて巡戦比叡その他により沈没。その後大統領部隊感状を受ける。2代目はアレン・M・サムナー級駆逐艦(DD-724)。45年4月16日に特攻機の攻撃により損傷する。現在はサウスカロライナ州チャールストン港にて保存、展示されている。

2 x 第3次ソロモン海戦

50

1

+0

+1

+1

'42

'43

'44

'45

魚雷艇

P T 1 0 9

ボーナス：通常のカードの代わりに使用するか、艦船と一緒に使用できる。

ジョン・F・ケネディ(註:もちろん後の…)は43年4月25日から、同年8月2日に駆逐艦天霧と衝突、沈没するまで魚雷艇P T 109の艇長だった。

51

0

+0

+2

+0

'42

'43

'44

'45

砲術指揮

火器管制レーダー

ボーナス：艦船にのみ使用できる。

44年10月24～25日、米戦艦群はスリガオ海峡夜戦でレーダー管制射撃によって完勝した。

2 x スリガオ海峡夜戦

52

🔄

1

2

0

'43

'44

'45

軽巡洋艦

サンタフェ

クリーブランド級軽巡。エンガノ岬沖海戦にてL.T.デュボーズ少将の旗艦だった。彼の部隊は損傷後漂流中の軽空母千代田と独航中の駆逐艦初月を撃沈した。

初月

53

2

0

2

2

'43

'44

'45

駆逐艦隊

リトルビーバース

「31ノット・バーク」ことアーレイ・バーク大佐率いるフレッチャー級駆逐艦からなる第23駆逐隊はソロモン諸島での一連の戦果により大統領部隊感状を受賞した。(註:二つ名の由来は「我、31ノットにて進撃中」の報告電による。当時米艦隊の部隊速度は30ノットが最大だった。)

2 x ブーゲンビル島沖夜戦

54

2

2

?

4

0

'44

'45

戦艦

ニュージャージー

アイオワ級戦艦。44年2月17日のトラック空襲に参加後、レイテ沖海戦（注：戦場カード29～31）ではハルゼー中将の旗艦だった。現在はニュージャージー州カムデンにて保存、展示されている。

55

5

2

?

4

0

'44

'45

戦艦

アイオワ

同級戦艦のネームシップ。もっぱら対空砲火と主砲の対地攻撃が任務だった。唯一の目立った戦果として44年2月17日のトラック空襲にて、軽巡香取を撃沈している。現在はカリフォルニア州スーソン湾で予備艦として保管されている。

56

5

0

0

?

'44

'45

護衛駆逐艦

イングラッド

バックレイ級護衛駆逐艦（注：駆逐艦ヘンリーのバックレイ級とは別）。真珠湾攻撃で戦死した海軍少尉にちなんで命名された。12日間で潜水艦6隻を撃沈し、大統領部隊感状を受賞している。45年5月9日に特攻機により損傷。

ロー 1 0 8

57

1

0

1

2

'45

駆逐艦

マナート・L・アベール

アレン・M・サムナー級駆逐艦。硫黄島及び沖縄侵攻作戦に参加する。45年4月12日、レーダービケット（注：艦隊外周でレーダーを展開し警戒に当たる。単独行動の場合が多い）任務中に桜花の攻撃で沈没する。乗組員73名が戦死した。

2 x 菊水作戦

58

1

0

2

3

'41

'42

'43

'44

'45

潜水艦

トートグ

タンバー級（注：T級とも）潜水艦。13回の出撃で艦船26隻を撃沈（総トン数72,606t、隻数では米軍潜水艦一位）、戦争中の犠牲者は高波にさらわれた1名のみであった。

59

1

0

1

2

'42

'43

'44

'45

潜水艦

S - 4 4

S級潜水艦。1923年進水の旧式艦である。艦船4隻（注：重巡加古等）を撃沈（18,470t）したが、43年10月7日、5回目の出撃中に千島沖にて海防艦石垣に撃沈される。2名のみが救助され、その他56名の乗組員は戦死した。

加古

60

1

0

2

2

'42

'43

'44

'45

潜水艦

アルバコア

ガトー級潜水艦。艦船10隻（注：空母大鳳等）を撃沈（49,861t）するが、44年11月7日、11回目の出撃中に北海道沖で機雷に触れて沈没する。乗組員86名全員が戦死した。

大鳳

61

1

0

2

2

'43

'44

'45

潜水艦

スキャンプ

ガトー級潜水艦。イー168潜を含む艦船5隻を撃沈（34,108t）したが、44年11月11日、8回目の出撃中に東京湾近海で敵の攻撃により沈没する。乗組員83名全員が戦死した。

イー 1 6 8

62

1

0

2

2

'43

'44

'45

潜水艦

デイス

ガトー級潜水艦。合計7回の出撃で艦船6隻を撃沈（28,689t）する。44年10月23日、パラワン水道近海で姉妹艦ゲーターと共に、レイテ島に向かう日本艦隊に効果的な攻撃を行った（注：この攻撃で「摩耶」を含む重巡2隻が沈没、1隻が大破している）。

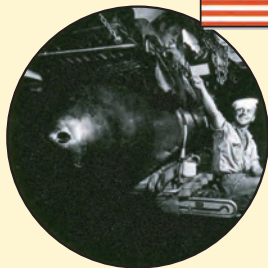
摩耶

63

1

+0
+2
+2

新型魚雷



Mk 14 & 18

ボーナス：潜水艦にのみ使用できる。

兵器局がMk14魚雷の欠点を改良し、またMk18電気推進魚雷を導入するまで、米潜水艦は一年以上に渡って信頼性の低い空気推進魚雷で戦わなければならなかった。

64

0
2
3

潜水艦



フラッシャー

ガトー級潜水艦。6回の出撃で艦船21隻を撃沈(100,231t。撃沈トン数では米潜水艦一位)する。その功績により大統領部隊感状を受賞した。

岸 波 65

0
2
*?

潜水艦



タング

* ダイスの結果が1なら、魚雷の誤射によって沈没する。このカードの戦力は戦闘結果には影響しない。このカードを好きなプレイヤーに戦果として与えること。対象のプレイヤーは、この戦闘に参加していなくてもよい。

艦長ディック・オカーン中佐と生存者8名は捕虜になった。(注：バラオ級。艦船23隻、93,824tを撃沈した)

66

0
2
?

群狼作戦



ハイデマンのヘルキャット

艦長E・T・ハイデマン中佐の潜水艦シードッグ(注：バラオ級)と他8隻の潜水艦は45年6月、日本海へ進入するために機雷原を抜けた。艦船27隻とイー122潜を撃沈したが、味方潜水艦1隻も犠牲となった。

2 x 日本海通商破壊 67

?
?1
1

空母



レキシントン

同級空母のネームシップ。「レディ・レックス(CV-2)」こと初代レキシントン(注：ワシントン条約で建造放棄された巡戦の艦隊を使用。日本の赤城も同様)は珊瑚海海戦にて雷爆撃で大破した後、処分された。その後43年8月にエセックス級の新造空母・2代目レキシントン(CV-16)が就役している。

祥 鳳 68

?1
?1
1

空母



エンタープライズ

ヨークタウン級空母。「ビッグE」こと同艦は、太平洋戦争を通じて20の海戦に出撃、22個の従軍星章と大統領部隊感状を受賞した米海軍の最殊勲艦だった。45年5月14日に特攻機の攻撃を受けた後は戦争の残りの期間、第一線を退いている。

赤 城 69

1
1
1

飛行艇



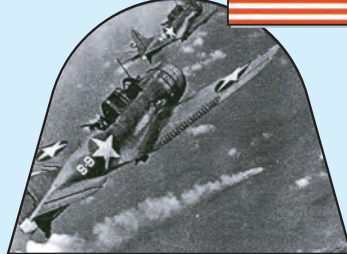
PBYカタリナ

レスキュー：連合国の(空母以外の)航空機カードが戦闘で敗北するか標的として撃破された場合、直ちにこのカードを手札から捨てて乗組員を救助できる(対象のカードを捨て札にする)。この能力は、自分が連合国で参加していなくても使用できる。

ロー 101 70

1
3
1

急降下爆撃機



SBDドントレス

二人乗りの艦上爆撃機であるSBDドントレスは、ミッドウェー海戦にて敵空母4隻、重巡1隻を撃沈する大金星を挙げた。

飛 龍 71

2
0
0

陸軍戦闘機



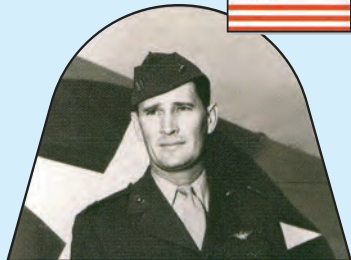
P-40ウォーホーク

米陸軍航空隊最初のエースパイロットである「バズ」ワグナー中佐(当時中尉)は総撃墜数8機の内5機を41年12月のフィリピン防衛戦にてP-40で記録した。また、44年1月23日、ボブ・デハーベン中尉(撃墜数14機)は同機で日本の撃墜王である南郷茂男大尉を撃墜している。

一式戦闘機「隼」 72

2
0
0

海軍戦闘機



F 4 F ワイルドキャット

海兵隊のエースであるジョー・フォス大尉は、ガダルカナル島のヘンダーソン飛行場を巡る戦いで26機をF4Fで撃墜した。後に議会名誉勲章を受章、大戦を生き延びている。

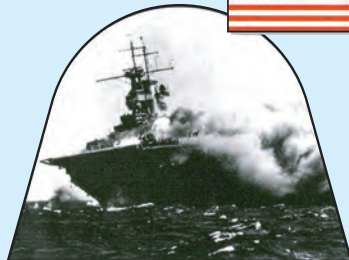
一式陸上攻撃機

73

1

?
?
1

空母



ワスプ

初代ワスプ(CV-7)は42年9月15日、ガダルカナル島への増援船団を護衛中にイー19潜の魚雷を受け、沈没した。乗組員173名が犠牲となっている。その後エセックス級の2代目ワスプ(CV-18)が、44年3月に艦隊に加わった。

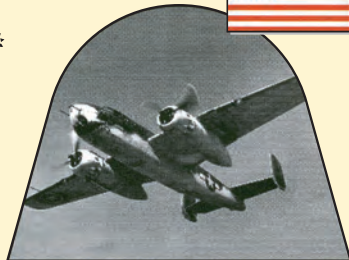
2 x 呉軍港空襲

74

3

2
2
0

中型爆撃機



B-25 ミッチェル

乗員4名〜6名。ケニー將軍の第5空軍では、機種に装備した機関砲での対地・対艦射撃や敵艦艇への反跳爆撃(注:水面に低空進入して爆弾を投下すると、小石の水切りのように爆弾が水面をスキップして飛んでいくを利用した攻撃法)に活躍した。

2 x ダンピール海峡

75

2

1
3
1

雷撃機



T B F / T B M アベンジャー

乗員3名。45年4月7日、戦艦大和に10本以上の魚雷を命中させ、これを撃沈している。また、ジョージ・ブッシュ中尉(注:後の大ブッシュ)は44年中にTBMで58回の出撃を記録している。

大和

76

1

3
0
0

陸軍戦闘機



P-38 ライトニング

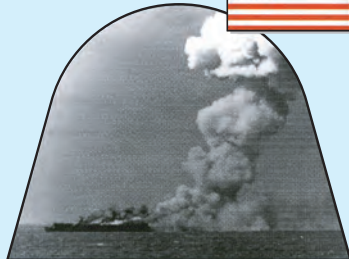
合衆国の最多撃墜記録保持者で議会名誉勲章受賞者のリチャード・ボング少佐は、総撃墜数40機を全てP-38で記録した。45年8月6日、ジェット戦闘機の実戦テスト中に事故死している。

77

1

?
1
1

軽空母



プリンストン

インディペンデンス級軽空母。44年10月24日、フィリピン沖で彗星艦爆の攻撃を受けた後、大爆発を起こして沈没した。炎と爆発により(注:消火活動中の僚艦も含めて)多くの乗組員が戦死した。

2 x ラバウル空襲

78

2

1
3
1

急降下爆撃機



S B 2 C ヘルダイバー

乗員2名の艦上爆撃機。前期型は飛行中の安定性が悪く、正式名称のSB2Cまでが「Son of a Bitch 2nd Class」(注:「2級品でクソツレなドラ息子」とでも訳しますか…)の略だと陰口を叩かれる始末であった。

千代田

79

1

?
0
0

海軍戦闘機



F 6 F ヘルキャット

一回の出撃で9機を撃墜するなど合計34機のスコアをF6Fで挙げたデビッド・マッキンベル中佐は、第2次世界大戦の米海軍最多撃墜記録保持者である。大戦を生き延び、議会名誉勲章受章の荣誉にも輝いた。

艦上爆撃機「彗星」

80

1

4
1
0

海軍戦闘機



F 4 U コルセア

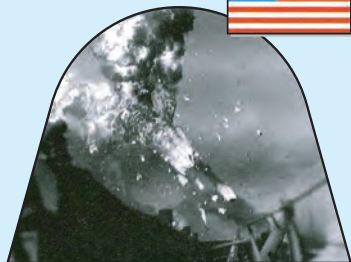
議会名誉勲章受賞者の「バビー」ことグレッグ・ボイントン中佐(22機撃墜)は、F4Uで編成された「ブラック・シーフ」飛行隊の指揮官だった。44年1月3日に零戦に撃墜された後、捕虜となって大戦を生き延びた。(注:一般には撃墜数28機となっている)

81

1

??
??
1

空母



イントレピッド

エセックス級空母。44年2月17日にトラック沖で航空機により被雷、また44年及び45年に何度か特攻機の命中を受けるなど、通称「Fighting I」はしばしば損傷を受けている。(注：逆に言えば、本級のしぶとさを物語るエピソードである。ついでに言うと、このクラスの戦没艦は無い。)

武蔵

82

5

2
1
1

護衛空母



ガンビア・ベイ

カサブランカ級護衛空母。侵攻艦隊の哨戒や艦隊・上陸部隊の近接支援に当たった。44年10月25日、サマール沖海戦にて重巡筑摩その他の砲火によって沈没した。

2 x サマール沖海戦

83

2

?
1
0

戦略爆撃機



B-29スーパーフォートレス

高空からの昼間精密(注：目標は航空機工場等の戦略拠点)爆撃から低空で進入する焼夷弾(注：ついでに市街地への無差別)爆撃に切り替えた後、第20空軍のB-29群は日本の諸都市を一つ一つ焼き尽くしていった。エノラ・ゲイとボックスカーは日本に原爆を投下した。

2 x 東京大空襲

84

3

+2
+2
+0

戦術的優位



マリアナの七面鳥撃ち

ボーナス：航空機にのみ使用できる。

いわゆる「マリアナの七面鳥撃ち」で、米軍のF6Fパイロットは日本側の技量未熟な搭乗員をバタバタと撃ち落した。(注：日本側の損害は全体の8割弱に上る387機。レーダー完備の警戒網に質量とも圧倒的な敵戦闘機、とどめに雨霞と飛んでくる近接信管付きの対空砲火では…。)

2 x マリアナ沖海戦

85

1

+0
+1
+1

対地ロケット



HVARホーリーモーゼ

ボーナス：航空機にのみ使用できる。

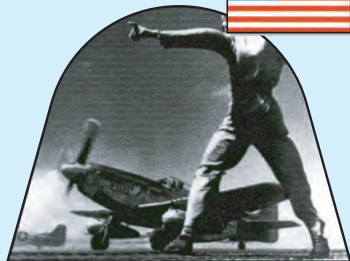
2台の「5" High-Velocity aircraft rocket (注：航空機用5インチ高速ロケット弾)」懸架装置を装備した航空機の火力は、駆逐艦の舷側を破壊するのに十分だった。

86

1

4
0
0

陸軍戦闘機



P-51マスタング

45年1月11日、ビル・ショーモ大尉はルソン島上空に於いて、P-51で6分間に7機を撃墜した(総撃墜数8機)。議会名誉勲章受章の名誉にあずかり、大戦を生き延びた。

87

1

海軍中将



ウィリアム・H・ハルゼー中将

イベント：戦闘を総力戦にする。または通常カードを2枚使用できる。このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

「猛牛」ことビル・ハルゼーは、幾多の戦闘で勝利した有名な猛将である。

88

1

暗号諜報



暗号解読員

イベント：通常の手番にこのカードを使用することで、自分の手番をラウンドの最後にすることができる。ただし連合国のカードを使用するか、このカードを捨てることしかできない。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。「トラ・トラ・トラ」によって除去されたときはラウンドの最後の手番は回ってこない。

我奇襲に成功せり
「トラ・トラ・トラ」

89

1

+
+1
+0

野戦諜報



コーストウォッチャー

ボーナス：好きなカードに使用できる。

オーストラリア軍の監視網は、自らも大きな危険に晒しながら日本軍の動向を伝えた、ソロモン群島の原住民の報告に支えられていた。

2 x ルンガ沖夜戦

90

0

秘密基地



シャングリラ

イベント：このカードは手番の最初に（親なら戦場とその時間や種類を選んだ後で）使用しなければならない。手札から好きなだけカードを捨て、それから手札を上限枚数まで補充する（このカード自身は手札の枚数には数えない）。この手番では、連合国のカードを使用するか、このカードを捨てることしかできない。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

91



米国の産業



リベット工員ロージー

イベント：連合国が勝ったら、このカードを自分の戦果として獲得できる（連合国が敗北するか戦闘が発生しなかったら、このカードを捨てる）。

このカードは戦果の分配枚数には数えない。

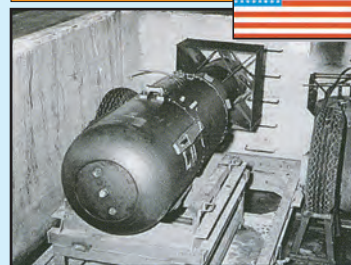
このカードを「霧」の下に隠すことはできない。



92



原子爆弾



リトルボーイ

イベント：ラウンド終了時にダイスを振る。

1～5：戦闘の結果にかかわらず、このカードと戦場カードを自分の戦果として獲得する。
6：このカードを自分の戦果として獲得する。

どちらの場合も、このカードは戦果の分配枚数には数えない。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

93



戦力の秘匿



霧

イベント：通常カード1枚と適切なボーナスカードを何枚でも、裏向きにしてこのカードの下に隠す。イベントカードを隠すことはできない。プレイ順は変わらないが、この下のカードはラウンドの終了時に公開する。他のカードを追加で使用するときは、それらのカードは表向きにしなければならない。

94



戦闘の延期



昼か夜か

イベント：ダイスを1個振る。

1～3：時間が変わる。すでに使用された時間の一致しない戦力カードをすべて捨て、直ちに手番を終了する。

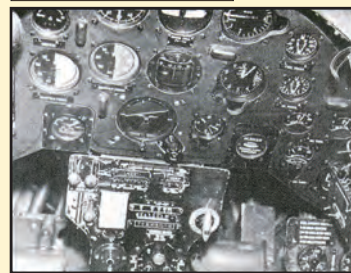
4～6：時間は変わらない。直ちに手番を終了し、このカードを次のプレイヤーに渡す。そのプレイヤーは手番を終える前にこのカードを使用しなければならない。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

誰かが1～3を振るか、ラウンドが終了したら、このカードを捨て札にする。95



機械の故障



グレムリン

イベント：他のプレイヤーにこのカードを渡す。そのプレイヤーは、陣営にかかわらず、このラウンドの戦力にこのカードを加えなければならない。それぞれのスートは0未満にはならない。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

S B 2 C ヘルダイバー
三式戦闘機「飛燕」

96



悪天候



台風

イベント：自分の手番の終了時にダイスを振る。

1～3：プレイヤーを1人選択する。このラウンド中、そのプレイヤーは手番を失う（または使用済みのカードを捨てる）。

4～6：このカードを次のプレイヤーに渡す。そのプレイヤーは手番の終了時にこのカードを使用しなければならない。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

誰かが1～3を振るか、ラウンドが終了したら、このカードを捨て札にする。97



巡洋戦艦



霧島

巡洋戦艦金剛級。42年11月15日、第三次ソロモン海戦第二ラウンド（太平洋戦争初の戦艦同士の闘い）にて、戦艦ワシントンの40センチ砲弾9発、12.7センチ砲弾40発以上を浴びた後、沈没した。300名以上が艦と運命を共にした。

2 x 第三次ソロモン海戦

98



巡洋戦艦



比叡

巡洋戦艦金剛級。42年11月13日、第三次ソロモン海戦第一ラウンド（戦艦や重巡が1000m未満の距離で撃ち合った）で大破、その翌日米軍機の爆撃を受けて自沈した。乗組員188名が戦死した。

ラッフェイ

99



1
2
0

重巡洋艦



筑摩

重巡利根級。日本の重巡中進水はもっとも遅い。44年10月25日、サマル沖海戦で航空魚雷を受けて大破後、処分された。生存者は移乗した駆逐艦が沈んだため、全滅している。

ガンビア・ベイ

100

2

0
1
2

駆逐艦



天霧

レスキュー：日本の2VP以下の艦船カードが戦場で敗北するか標的として撃破された場合、直ちにこのカードを手札から捨ててその艦船を曳航できる（対象のカードを捨て札にする）。この能力は、自分が日本で参加していなくても使用できる。

P T 1 0 9

101

1

2
7
0

戦艦



大和

戦艦同級ネームシップ。最大排水量71,659tの、世界最大の戦艦である。43年2月まで、山本五十六大將麾下の連合艦隊旗艦を務める。45年4月7日、菊水一号作戦に於いて艦載機の攻撃で沈没、3,063名が戦死した。

102

6

1
5
0

戦艦



長門

戦艦同級ネームシップ。マリアナ沖海戦及びレイテ沖海戦（戦場カード29～31）までは直接戦闘には参加していない。45年に沿岸防御のため横須賀港に係留され、同地で終戦を迎える。その後46年7月29日、ビキニ環礁の原爆実験で沈没した。

103

4

1
2
0

重巡洋艦



摩耶

重巡高雄級。42年10月15日及び11月14日、ガダルカナル島ヘンダーソン飛行場に艦砲射撃をかけ、航空機を地上撃破した（注：実際は10月15日に砲撃を行ったのは巡戦金剛と榛名、11月14日は重巡島海と衣笠）。44年10月23日、バラワン水道にて潜水艦デースの魚雷4本を受けて鼻沈した。

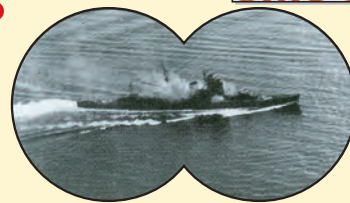
S B D ドーントレス

104

2

1
2
0

重巡洋艦



羽黒

重巡妙高級。45年3月16日、マラッカ海峡で英第26駆逐隊の夜間雷撃を受けて（太平洋戦争最後の水上艦同士の戦い）沈没した。乗員約900名が艦と運命を共にした。（注：その他スラバヤ沖海戦やブーゲンビル島沖夜戦などに参加している）

2 x スラバヤ

105

2

0
2
0

重巡洋艦



加古

重巡古鷹級。42年8月10日、第一次ソロモン海戦に参加後の帰港中に潜水艦S-44の魚雷3発を受け、7分で沈没した。乗員のほとんどは救助された。

キャンベラ

106

2

0
2
2

増援部隊



東京急行

ガダルカナル島での戦闘期間中、田中頼三少将率いる第2水雷戦隊は米軍機と遭遇しない夜間に、補給物資や増援部隊の「定期便」を送った（注：その後も駆逐艦を使った補給作戦はソロモンやフィリピン等各地の戦場で行われた）。

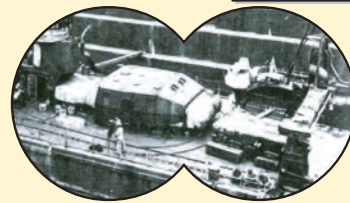
2 x ルンガ沖夜戦

107

2

+0
+2
+0

高性能魚雷



93式酸素魚雷

ボーナス：艦船にのみ使用できる。

連合国の魚雷よりも射程、威力共に格段に高い口径61センチの「青白き殺人者」に、多くの連合国艦艇が沈められた。（注：写真は陽炎型の不知火。酸素を燃焼剤に使ったため、航跡が残らなかったのは有名な話である）

A B D A 連合艦隊

108

2

1
7
0

戦艦



武蔵

戦艦大和級。44年10月24日、捷一号作戦中にシブヤン海にて爆弾17発、魚雷19本の命中を受け、転覆沈没した。乗員1,023名が艦と運命を共にした(注:戦中の物資不足等により対空砲の数は大和より少ない)。

109 **6**

0
1
1

軽巡洋艦



能代

軽巡阿賀野級。43年6月30日竣工。43年11月5日のラバウル空襲で航空魚雷(不発)を受けるなど小破。その後44年10月26日、サマール沖海戦後の撤退中に航空魚雷により沈没した。

2 x サマール沖海戦 110 **1**

0
1
2

駆逐艦



初月

駆逐艦秋月級。44年10月25日のエンガノ岬沖海戦後、味方艦の救出及び脱出を支援中に旗艦サントフェ率いる米海軍の追撃隊との戦いで沈没した。

111 **1**

0
0
3

海防艦



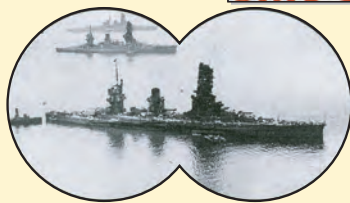
石垣

海防艦占守級。千島列島での船団護衛に当たった。43年10月7日、潜水艦S-44を夜間の砲撃戦で撃沈した。その後44年5月31日、米潜水艦ヘーリングの雷撃により沈没した。

S-44 112 **1**

1
5
0

戦艦



山城

戦艦扶桑級。捷一号作戦の発動に伴い、それまで後方任務に就いていたこの艦齢27年の老戦艦も前線に引き出された。44年10月25日、スリガオ海峡夜戦で沈没。乗員1,400名の内、生存者はわずか3名だった。

2 x スリガオ海峡夜戦 113 **4**

0
1
2

駆逐艦



岸波

駆逐艦夕雲級(注:写真は陽炎級の磯風)。マリアナ沖海戦や一連のレイテ沖海戦で戦った。その後44年12月4日、バラワン島西方海上にて米潜フラッシャーの雷撃により沈没。90名が戦死し、150名が生還した。

114 **1**

+0
+1
+0

特攻艇



震洋

ボーナス: 通常のカードの代わりに使用するか、艦船と一緒に使用できる。

これら一人乗りの高速艇が何百艘も沖縄やルソン島に配備され、僅かな戦果を上げた。更に本土決戦に備え、何千艘も建造された。

2 x ルソン島 115 **0**

0
2
2

潜水艦



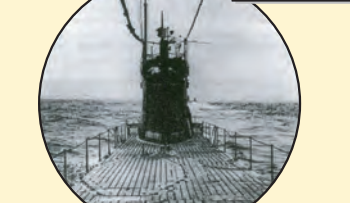
イ-168

潜水艦海大VI型。41年12月に真珠湾沖に出撃、その後ミッドウェー海戦では空母ヨークタウンと駆逐艦ハマンを撃沈する。43年7月27日、ニューアイルランド島沖で米潜スクンプとの魚雷戦により沈没した。

2 x ミッドウェー海戦 116 **1**

0
2
2

潜水艦



イ-175

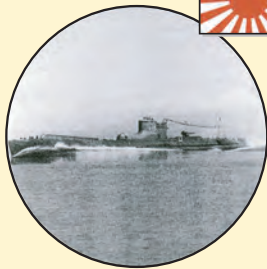
潜水艦海大VI型(写真は同型艦イ-171)。41年12月に真珠湾沖に出撃、その後43年11月24日の護衛空母リスカム・ベイを含めて艦船4隻を撃沈した。44年2月4日、対潜爆雷の攻撃により沈没した。

2 x ギルバート諸島 117 **1**

0
2
2

'42
'43
'44
'45

潜水艦



イー 19

潜水艦乙型。42年9月15日、発射した6発の魚雷は空母ワスプと駆逐艦オブライエンに致命傷を負わせ、更に戦艦ノースカロライナに命中した。その後43年11月25日、ギルバート諸島にて乗組員105名と共に沈没した。

ワスプ

118

1

0
2
3

'42
'43
'44
'45

潜水艦



イー 26

潜水艦乙型。敵艦船9隻(51,523t。軽巡ジュノー含む)を沈め、空母サラタガその他を損傷させた。44年10月26日、レイテ島沖にて護衛駆逐艦の攻撃により沈没。生存者は無かった。

ジュノー

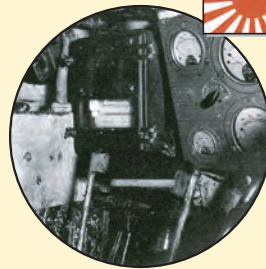
119

1

+0
+1
+1

'42
'43
'44
'45

特殊潜航艇



甲標的

ボーナス：通常のカードの代わりに使用するか、潜水艦と一緒に使用できる。

これらの二人乗り潜航艇は、艦隊型の潜水艦よりも容易に敵泊地に潜入した。甲標的はガダルカナル水域で、米護衛艦を雷撃している。(注：一般的には真珠湾攻撃への参加が有名。その他シンドニー等にも出撃している)

120

0

0
1
2

'43
'44
'45

潜水艦



ロー 101

沿岸防御用の小型潜水艦。戦果は無かったが、グンビル海峡の悲劇の後で生存者の救助に当たっている。43年10月15日、8回目の出撃中にカタリナ飛行艇と駆逐艦により撃沈された。

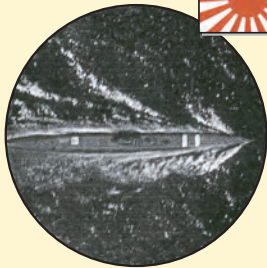
121

1

0
1
2

'43
'44
'45

潜水艦



ロー 108

沿岸防御用の小型潜水艦。駆逐艦ヘンリーを撃沈した。44年5月26日、5回目の出撃中に対潜部隊に発見され、護衛駆逐艦イングランドの散布爆雷ヘッジホッグで撃沈された。

ヘンリー

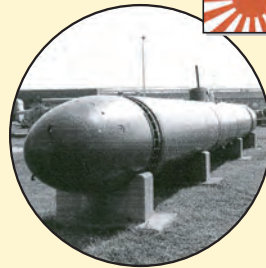
122

1

0
2
?

'44
'45

潜水艦隊



人間魚雷「回天」

この特攻兵器を搭載するため、何隻かの潜水艦が改造された。44年11月、ウルシー環礁の敵泊地に最初の攻撃隊が送り込まれ、同地に対しては45年7月の第9次攻撃隊まで編成された。(注：戦争全体では合計31回の出撃が行われた)

123

2

0
2
2

'45

潜水艦



イー 58

潜水艦乙型。4回目の出撃中にバラオ沖にて重巡インディアナポリスを撃沈した。艦長橋本中佐は戦後、同艦艦長に対する軍法会議に証人として出席している。イー58潜は46年4月1日、占領軍によって海没処分された。

インディアナポリス

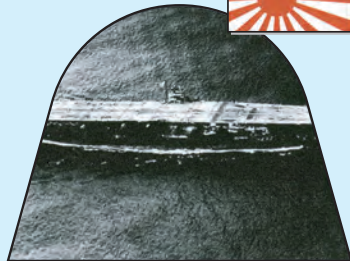
124

1

?
?1
1

'41
'42
'43
'44
'45

空母



赤城

建造の経緯はレキシントンと同様。真珠湾攻撃からミッドウェー海戦にかけて、日本の空母部隊である第一航空艦隊の旗艦を務めた。ミッドウェーにて第二攻撃隊の武装交換中に空母エンタープライズ搭載機の爆撃により大破炎上、42年6月5日に処分された。

TBF/TBM アベンジャー

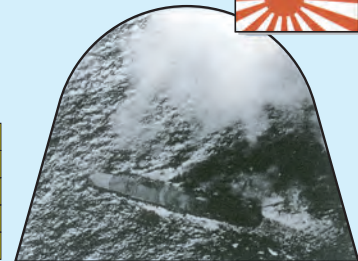
125

4

?1
?1
1

'41
'42
'43
'44
'45

空母



瑞鶴

空母翔鶴級。同艦と並んで日本空母中最も良く働いた艦である。真珠湾攻撃から、(注：水上部隊をレイテ島沖に突入させるための)園として犠牲になったエンガノ岬沖海戦までを戦い抜いた。沈没時に乗組員の半数が艦と運命を共にしている。

レキシントン

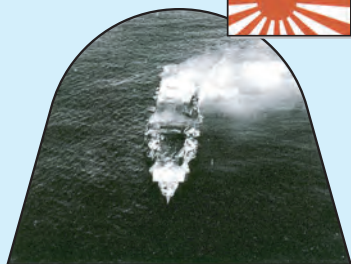
126

4

???

1
'41
'42
'43
'44
'45

空母



飛龍

真珠湾攻撃からミッドウェー海戦までを戦った。同海戦では空母ヨークタウンと相打ちになる形で同艦のSBDドーントレスに大破させられる。42年6月5日、処分された。

2 x 真珠湾攻撃

127

3

220

'41
'42
'43
'44
'45

海軍攻撃機



一式陸上攻撃機

一式陸攻(G4M)は戦争序盤に双発の雷爆撃機として活躍した。翼内の燃料タンクを含めて防弾装備が皆無で被弾により容易に炎上した。このため、連合兵士からはその形状とあわせてハマキ(葉巻)と呼ばれた。

レパルス

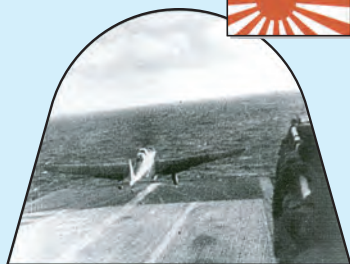
128

2

131

'41
'42
'43
'44
'45

雷撃機



九七式艦上攻撃機

九七艦攻(B5N)は真珠湾で米戦艦隊を雷爆撃で大破着底せしめた(注:そのうちの1隻・戦艦アリゾナは今でも真珠湾の海底に眠っている)他、珊瑚海、ミッドウェー、南太平洋の三海戦で米空母3隻の撃沈に寄与した。

ウェストバージニア

129

1

130

'41
'42
'43
'44
'45

急降下爆撃機



九九式艦上爆撃機

戦争の序盤、練度の高い搭乗員に操られた2人乗りの九九艦爆(D3A)急降下爆撃機は驚異的な命中率を誇った。(注:インド洋で英重巡2隻を葬ったときの命中率は何と88%!)

2 x 南太平洋海戦

130

1

300

'41
'42
'43
'44
'45

海軍戦闘機



零式艦上戦闘機

「大空のサムライ」こと坂井三郎少尉(終戦時)は総撃墜数60機のほとんどを零戦(A6M)によって達成した。42年8月に重傷をおったが、その後44年に前線に復帰した。また、44年1月3日、零戦隊はラバウル近海でグレッグ・ポイント少佐のF4Uコルセアを撃墜している。

F4Uコルセア

131

1

211

'42
'43
'44
'45

軽空母



祥鳳

補給艦剣崎からの改装空母。42年3月7日、珊瑚海海戦にて空母レキシントン及びヨークタウン搭載機の雷爆撃により沈没した。乗組員631名が戦死した。本艦は太平洋戦争に於ける初の喪失空母となった。

2 x 珊瑚海海戦

132

2

200

'42
'43
'44
'45

水上戦闘機



二式水上戦闘機

甲木清実(かつききよみ)准尉は総撃墜数16機の内7機を、零戦からの派生機である2式水戦(A6M2-N)のような水上機で挙げた。彼は戦争を生き延びた。

B-25ミッチェル

133

1

200

'42
'43
'44
'45

陸軍戦闘機



一式戦闘機「隼」

南郷茂男大尉は、戦撃墜数15機のすべてをニューギニアでキ-43「隼」を駆って記録した。44年1月23日、ウエワク島上空にてボブ・デハーベン中尉のP-40ウォークホークにより撃墜、戦死した。

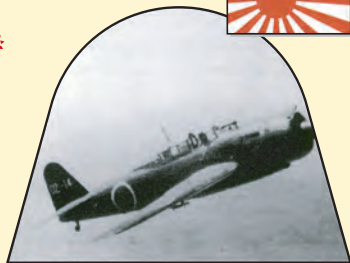
134

1

110

'43
'44
'45

急降下爆撃機



艦上爆撃機「彗星」

彗星(D4Y)は九九式艦上爆撃機の後継機だが、本機の登場時にはもはや往時の熟練搭乗員は残っていなかった。本土空襲時には夜間戦闘機型も生産されている。通常乗員2名だが例外として特攻機の場合は1名である。

プリンスン

135

1

3
0
0

陸軍戦闘機



二式複座戦闘機「屠龍」

樺出勇（かしいでいさむ）大尉はキ-45「屠龍」を駆って陸軍航空隊のB-29最多撃墜者となった。（総撃墜数9～33機（資料によって異なる）、内B-29が7機）彼は戦争を生き延びた。（注：日本の陸海軍では特に戦争後半、個人の詳細な撃墜記録を取っていない。これに敗戦時の資料処分や散逸が重なり、個人戦歴の多くは公式には不明となっている）

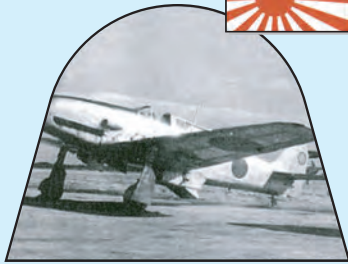
B-29スーパーフォートレス

136

1

?
0
0

陸軍戦闘機



三式戦闘機「飛燕」

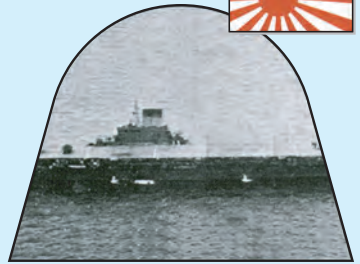
竹内正吾少佐（総撃墜数30。19機とする資料もある：注）はニューギニアで16機を撃墜した。キ-61「飛燕」での初撃墜の獲物はB-24重爆撃機である。43年12月21日、離陸中の事故で戦死した。（注：ドイツからライセンス生産した水冷エンジンの信頼性が悪く、稼働率は低かった）

137

1

?1
?1
1

空母



大鳳

初の実戦となるマリアナ沖海戦にて、米潜アルバコアの魚雷1発を受ける。これが原因で気化したガソリンが艦内に充満し引火、爆発大火災を引き起こした。44年6月19日沈没、660名が艦と運命を共にした。

2 x マリアナ沖海戦

138

4

3
1
1

軽空母



千代田

水上機母艦からの改装空母（注：同型艦に「千歳」）。エンガノ岬沖海戦でSB2Cヘルダイバーの爆撃により大破航行不能に陥り、漂流中を米巡洋艦部隊（指揮官デューボズ少将）の砲撃により沈没した。全乗組員1,470名が戦死した。

2 x エンガノ岬沖海戦

139

2

2
2
0

陸軍爆撃機



四式重爆撃機「飛龍」

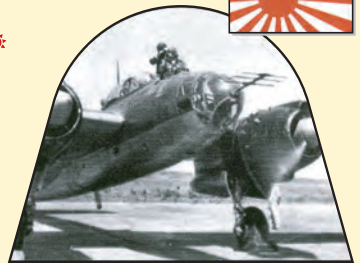
太平洋戦争における日本の双発爆撃機中最高傑作と言われるキ-67「飛龍」は、爆撃の他雷撃も可能だった（注：陸軍機だが海軍でも採用していた）。乗員は6～8名。

140

2

3
2
0

海軍爆撃機



陸上爆撃機「銀河」

主に雷撃機として、後には特攻機としても使用された。45年3月11日、ウルシー環礁の米艦隊に突入した「銀河」(PIY)特攻隊12機は、空母ランドルフを損傷させた。（注：雷撃機としての活動は台湾沖航空戦のそれが有名。こちらも実際の戦果は僅かだった）

2 x 台湾沖航空戦

141

2

4
0
0

陸軍戦闘機



四式戦闘機「疾風」

陸軍の「エースの中のエース」こと穴吹智（あなぶきさとる）曹長は合計51機を撃墜した（39機という説もある）。44年10月には、しばしばキ-84「疾風」を駆ってF6Fヘルキャットを撃墜している。

142

1

*1
*?
*0

特攻兵



神風特別攻撃隊

ボーナス：航空機にのみ使用できる。元のカードの戦力を無視してこのカードの戦力のみを使用する。

「カミカゼ」操縦者は敵艦や飛行機に自機ごと突っ込んでいった。（注：対艦攻撃のほか、本土爆撃を行うB-29に対しても行われた）

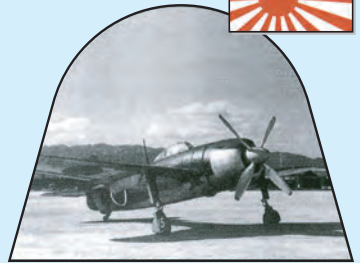
2 x 菊水作戦

143

1

4
0
0

精鋭戦闘機隊



第343海軍航空隊

真珠湾攻撃の発案者でもある源田実中佐は、本土防空戦のために海軍の撃墜王の間を徹底的に回って、「紫電改」（注：写真は「紫電」）装備の航空隊を編成した。（注：松山343空は呉軍港空襲時の防空戦等に活躍している。）

2 x 呉軍港空襲

144

1

+0
+2
+0

特攻ロケット



人間ロケット「桜花」

ボーナス：通常のカードの代わりに使用するか、航空機と一緒に使用できる。

MXV7「桜花」は一人乗りの、高速で敵艦に突っ込むための航空機搭載型ロケットである。連合軍の通称は「バカ・ボム」(注：桜花自体の重量のために母機ごと撃墜される例がほとんどであった)。

マナート・L・アベール

145



海軍大将



山本五十六

イベント：戦闘を総力戦にする。または通常のカードを2枚使用できる。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

連合艦隊司令長官。戦争初期の日本海軍の勝利の立役者である。43年4月18日、ブーゲンビル島上空でP-38ライトニングの待ち伏せを受けて戦死した。

146



奇襲攻撃



「トラ・トラ・トラ」

イベント：通常の手番にこのカードを使用することで、自分の手番をラウンドの最後にすることができる。ただし日本のカードを使用するか、このカードを捨てることしかできない。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

「暗号解読員」によって除去されたときはラウンドの最後の手番は回ってこない。

暗号解読員

147



+
+1
+

偵察機



洋上索敵

ボーナス：好きなカードに使用できる。

日本海軍では水上艦搭載の偵察機が索敵任務を行った(注：写真はこの機種の代表、零式水上偵察機)。

2 x マレー沖海戦

148



艦隊作戦



決戦

イベント：このカードは手番の最初に(親なら戦場とその時間や種類を選んだ後で)使用しなければならない。手札から好きなだけカードを捨て、それから手札を上限枚数まで補充する(このカード自身は手札の枚数には数えない)。この手番では、日本のカードを使用するか、このカードを捨てることしかできない。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

149



対米プロパガンダ放送



東京ローズ

イベント：自分より後のプレイヤーを2人選択する。このラウンド中、そのプレイヤーは連合国のカードを使用できない(対象が「暗号解読員」を使用していたら一切カードを使用できない)。

このカードを「霧」の下に隠すことはできない。

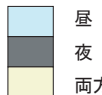
このカードが台風で無効化されることはない。

日系アメリカ人のアイヴァ・戸栗は、対米プロパガンダ放送のアナウンサーを勤めていたことから、49年に合衆国に対する反逆罪で有罪となる。77年に恩赦が言い渡された。(注：いわゆる東京ローズは複数いて、アイヴァの声は違うという説もある)

150



時間帯 (カードの色)



タイプ (写真の型)



0 空戦力/対空戦力
2 海戦力
3 潜戦力/対潜戦力
'41 投入年
'42
'43
'44
'45

☒ 戦役において、カードの戦力は2倍になる。

? “?”が1つあるごとにダイスを1つ振る。

🌙 夜の戦役では戦力+1

☀️ 昼の戦役では戦力+1

🗡️ 史実で撃破されたので対応するカードがある。

🔄 各ラウンド終了時、捨て札となる。

時間帯 (カードの色)



タイプ (写真の型)



0 空戦力/対空戦力
2 海戦力
3 潜戦力/対潜戦力
'41 投入年
'42
'43
'44
'45

☒ 戦役において、カードの戦力は2倍になる。

? “?”が1つあるごとにダイスを1つ振る。

🌙 夜の戦役では戦力+1

☀️ 昼の戦役では戦力+1

🗡️ 史実で撃破されたので対応するカードがある。

🔄 各ラウンド終了時、捨て札となる。

時間帯 (カードの色)



タイプ (写真の型)



0 空戦力/対空戦力
2 海戦力
3 潜戦力/対潜戦力
'41 投入年
'42
'43
'44
'45

☒ 戦役において、カードの戦力は2倍になる。

? “?”が1つあるごとにダイスを1つ振る。

🌙 夜の戦役では戦力+1

☀️ 昼の戦役では戦力+1

🗡️ 史実で撃破されたので対応するカードがある。

🔄 各ラウンド終了時、捨て札となる。